

CROSS POINT

時間と空間の
交差点。
クロスポイント

～音楽都市宣言記念～

第1回 平成20年度 郡山市文化財企画展を 開催します!

7月12日(土)から7月27日(日)まで、郡山市文化センター1階展示室で文化財企画展を開催します。今回の企画展は、初めて郡山市で発掘調査が行われてから60年を記念して「七ツ池遺跡出土 二彩浄瓶」と古代の郡山 ―郡山発展60年― と、大安場史跡公園が平成21年4月に全面オープンすることをPRするための「古墳時代にタイムスリップ ―大安場史跡公園 来春全面オープン―」の二つの大きなテーマで開催します。平成19年度に発掘調査した遺跡の成果展も併せて開催します。また、お楽しみ体験コーナーでは実際に縄文土器を持ってみたい、古墳時代の衣装を着てみたいなど、いろいろな体験ができます。そして、今回の特別企画として大安場古墳に並べる壺を皆さんと一緒に作りますので、御参加下さい。御来場をお待ちしております。

音楽都市宣言記念
平成20年度 第1回
郡山市文化財企画展
御案内



記念講演会

古代の陸奥国と安積郡

期 間… 平成20年 7月12日(土)～7月27日(日)

[7月14日(月)、7月22日(火)はお休みです。]

場 所… 郡山市民文化センター 1階 展示室

調 師/今泉 隆雄 先生(東北大学大学院教授)
日 時/平成20年7月20日(日) 午後1時より
場 所/郡山市民文化センター5階集客室

記念講演会に
引き続き
発掘調査報告会
を行います。

―音楽都市宣言記念―
平成20年度 第1回文化財企画展

国指定重要文化財
七ツ池遺跡出土 二彩浄瓶と
古代の郡山 ―郡山発展60年―

古墳時代にタイムスリップ
大安場史跡公園 来春全面オープン!!

記念講演会 7/20
①「古代の陸奥国と安積郡」 8 今泉 隆雄 先生
時間: 午後1時00分～午後2時30分
会場: 郡山市民文化センター 5階集客室

発掘報告会 7/20
「平成19年度市内発掘調査の成果報告」
時間: 午後2時30分～午後3時30分
会場: 郡山市民文化センター 5階集客室

7/12(土) 7/27(日) [休館日]
午前9時～午後5時(入場は午後4時30分まで)
郡山市民文化センター1階/展示室 入場無料

主催/郡山市教育委員会・財団法人郡山市文化・学び振興公社 文化財調査研究センター
A席・B席 ● 5階集客室(観客約200人) 7月20日(日) 3:00

企画展は2つのテーマで行います。それぞれのテーマの注目すべき、展示品について紹介しましょう。

THEME 1

テーマ1 七ツ池遺跡出土 二彩浄瓶 と古代の郡山

—郡山発掘60年—

二彩浄瓶



昭和23(1948)年に七ツ池遺跡で、郡山市内では初めての発掘調査が行われました。今年で、この調査から60年を迎えることとなりました。このことを記念して、これまでの発掘調査でわかった古代の郡山の様子を紹介するコーナーです。このコーナーの最大のポイントは、やはり国指定重要文化財「二彩浄瓶」でしょう。

NISHAI-JYŌUEI

ひとくちメモ

二彩浄瓶(にさいじょうへい)

浄瓶は仏事で使う飲み水を入れておくものです。緑と黄色の二色の釉薬(うわぐすり)を使って縞模様を描いているので二彩浄瓶と呼ばれています。昭和62年6月に国の重要文化財に指定されました。

七ツ池遺跡(ななついきせき)

郡山市七ツ池町にある奈良時代の遺跡です。昭和13(1938)年11月、地元の方によって開墾中に二彩浄瓶、須恵器大甕片などが発見され、昭和23(1948)年に慶応大学により発掘調査が行われました。

田中遺跡・薄倉古墳群・清水台遺跡の各発掘調査で出土した遺物や写真を展示します。
田中遺跡(たなかのいせき) (第3次調査) / 縄文時代の落とし穴や近代の炭鉱跡を調査しました。
薄倉古墳群(うすくらこふんぐん) (第8次調査) / 7基の古墳を調査しました。
清水台遺跡(しみずたいいせき) (第30次調査) / 平安時代の住居跡などを調査しました。

平成19年度発掘調査成果展も行います!



田中遺跡(第3次調査)



薄倉古墳群(第8次調査)



清水台遺跡(第30次調査)



THEME 2

テーマ2

古墳時代に タイムスリップ

平成21年4月に大安場史跡公園が全面オープンします。そこで、このコーナーでは公園内に建設中のガイダンス施設に展示する大安場古墳の出土遺物や、公園の内容などを紹介します。

大安場古墳群 (おおやすばこふんぐん)

郡山市田村町大善寺にあります。平成3年に発見されて以来、測量調査や6回の発掘調査が実施されてきました。調査の結果、1基の前方後方墳と4基の円墳からなる古墳群であることがわかりました。代表される1号墳は、約1,600年前(古墳時代前期)に作られた古墳で、全長84mの東北地方では最大規模を誇る前方後方墳であることがわかりました。1号墳をはじめとした古墳群の一部は、平成12年9月に国指定史跡になりました。また、腕輪形石製品や土師器の二重口縁甕など出土遺物は福島県指定重要文化財になっています。

腕輪形石製品(石銅)



上空から見た大安場1号墳

二重口縁甕

二重口縁甕(にじゅうこうえんづぼ)

埋葬施設や祭事を行った場所を囲むように、古墳の頂部に飾られていたもので、埴輪のような役目をしていました。この部分は二段に朝顔の花のように大きく開いており、外面と上から見える底の内側は赤く色付けされていたようです。また、底の部分には穴が空けられており、実用品ではなかったことは明らかです。

腕輪形石製品(石銅)

(うでわがたせきせいひん(いしくしろ))
被葬者の副葬品として棺に納められたものです。外径9.1cm、高さ1.6cm、重さ59gのうす緑色をした緑色凝灰岩製のものです。東北地方の古墳では初めて見つかったものです。

前方後方墳(ぜんぽうこうほうふん)

教科書などで見られる前方後円墳は前方が台形状で後ろが円形ですが、前方後方墳は前方が台形状で後ろが方形の形をしています。前方部は祭事を行った所とされ、一段高い方形の後方には棺を埋葬する部分があります。多くは古墳時代前期(1,750~1,600年前)に作られており、主に東海地方から東の東日本地域に分布しています。

ひとくちメモ



まいぶん 掲示板

REPORT&INFORMATION



発掘調査事業

Excavation

蒲倉古墳群(蒲倉町ほか)

市立美術館東側の山林にある古墳群です。平成19年度に引き続いて、古墳公園の整備計画のための発掘調査を行い、基礎データを収集します。

市外の発掘調査事業

今年度は西白河郡中島町の勘治郎山(かんじろうやま)遺跡を発掘調査する予定です。

文化財整理事業

Rearrange

守山藩御用留帳の筆耕や県庁文書の整理、発掘調査出土品の台帳整理を行います。

発掘調査成果の整理事業

平成17～19年度に発掘調査した、須賀川市の新田館(しんでんたて)跡・西館館(にしだてたて)跡の報告書を作成します。

平成20年度は、次のような事業を行っていく予定です。



文化財普及啓発事業

Exhibition

出土品の展示会

平成20年度は本号で特集した夏の第1回郡山市文化財企画展、年が明けて1月にはビッグアイ6階市民ふれあいプラザ展示室で冬の第2回企画展を行います。

また、市役所本庁舎の市民ホールやビッグアイ6階市民プラザの広報スペースではミニ展示を行います。

文化財等学習サポート

小・中学校の郷土を学ぶ体験学習などの学習活動を支援します。また、各種団体・グループ等の文化財に関する見学会や勉強会などの活動を支援します。



平成19年度
夏の展示会



学習サポート
の様子

5月23日付け朝刊で、奈良時代に聖武天皇が造った紫香楽宮(しがらきのみや)がある滋賀県甲賀市の宮町(みやまち)遺跡で出土した歌木簡(歌が書いてある長さ60cm位の木簡)に、「万葉集に収められている歌が初めて見つかった。」と、報道されました。それは、郡山市にゆかりのある安積山を詠んだ歌であったのです。そこで、この木簡に書かれていた歌について紹介します。



あさかやまかげさ
万葉集の歌は「阿佐可夜麻可氣佐
へみゆるやまのあさきこ
間美由流夜真乃并能安佐伎已々
るをわがおもはなくに
呂乎和可於母夜奈久尔
(安積山影さえ見ゆる山の井の流
き心を我が思はなくに)」で、

なにはつにさくやこのはなふゆごもい
反対面には「奈流波ツ尔佐久夜己能波奈布由己母理伊
まははるべさくやこのはな
麻波々流俗等佐久夜己能波奈
(難波津に咲くやこの花冬ごもり今は春と咲くやこの花)」
(二首の赤字部分が見つかった所)と一文字で一音を表す万葉
仮名で墨書(ぼくしょ)されていました。

この二つの歌は、平安時代に作られた「古今和歌集(きん
わかしゅう)仮名序(かなじょ)」(紀貫之[きのつらゆき]作)で、
歌の父母のように手習いの最初の歌として紹介されているも
のです。二つの歌を一对とする伝統が奈良時代からあったこ
とが明らかになったのです。また、この木簡は万葉集が完成す
る前に書かれた可能性が高く、甲賀市教育委員会は「安積山の
歌が当時、広く流布しており、それを万葉集に収録したのだろう。」
と推測しています。

クロスポイント Vol.25

■発行・編集 / 財団法人 郡山市文化・学び振興公社文化財調査研究センター
〒963-0541 福島県郡山市喜久田町堀之内字畑田23番地
TEL.024-959-3305 FAX.024-959-3321
http://www.bunka-manabi.or.jp/history

■発行日 / 平成20年7月1日

